

5-1 説明

震度と揺れ等の状況

対策しないと、全部壊してやるぞー！
どーん！！



じしんまん
©やなせたかし

0

[震度0]
人は揺れを感じない。

1

[震度1]
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

2

[震度2]
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

3

[震度3]
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4

震度4
◎ ほとんどの人が驚く。
◎ 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
◎ 座りの悪い置物が倒れることがある。

5弱

震度5弱
◎ 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
◎ 棚にある食器類や本が落ちることがある。
◎ 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強

震度5強
◎ 物につかまらなと歩くことが難しい。
◎ 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
◎ 固定していない家具が倒れることがある。
◎ 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

6弱

震度6弱
◎ 立っていることが困難になる。
◎ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
◎ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
◎ 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強

震度6強
◎ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
◎ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
◎ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7

震度7
◎ 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに増える。
◎ 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
◎ 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

－地震の震度と揺れ等の状況（概要）－
（出典：気象庁）
自分の地域の震度と揺れの状況を見て、家やブロック塀の耐震化、家具の固定に取組みましょう。